

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)鎌倉市梶原計画 新築工事	階数	地上7F
建設地	神奈川県鎌倉市梶原宇古川240番3他2筆	構造	RC造
用途地域	工業地域 防火指定なし	平均居住人員	2,258 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2029年6月 予定	評価の実施日	2025年7月11日
敷地面積	24,017 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	9,693 m ²	確認日	2025年7月11日
延床面積	50,631 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
新駅前の開発から生まれる街並みに溶け込んだ親しみをもってもらえるデザインとし、環境にも配慮する設計とした。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
建物の外皮性能において、断熱等性能等級5相当、Low-Eガラスを採用している。また、建築材料はF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	躯体材料の耐用年数は住宅性能劣化等級3に相当している。 (想定耐用年数75~90年)	周辺環境に配慮した建物配置・外観デザインとし、景観創出に努めた。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱等性能等級5相当を確保することで、建物の熱負荷の制御に努めた。	発泡剤はODP=0、GWP=1以下のA種1Hノンフロン剤を用いた断熱材等を使用し環境に配慮した。	敷地内の駐輪・駐車スペースの適切な量の確保に取り組んだ。また、温熱環境悪化の改善のために敷地内の建築物計画と緑化計画に配慮し、熱的な影響を低減するよう計画した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される